

# 小学校社会科単元計画例【第6学年：今に伝わる室町文化】

【単元のねらい】京都の室町に幕府が置かれた頃の代表的な建造物や絵画を手掛かりに、今日的生活文化につながる室町文化が生まれたことを理解し、写真や絵画などの資料を比べたり結び付けたりして、文化に関する情報を適切に読み取り、調べた事象を関連付けたり総合したりして、この頃の文化の特色を考え、文章で記述することができるようにする。

【単元のめあて】今に受け継がれている室町時代の文化について調べ、室町文化新聞をつくろう。

【単元を通した学習問題】室町文化にはどのような特色があるのだろうか。また、今に受け継がれているものにどのようなものがあるのだろうか。

1時

【課題】ふたつの部屋の様子を比べよう。どのような違いや共通点があるだろうか。

【活動】東求堂と現在の和室の写真と比較し、共通点や相違点を話し合い、課題を設定する。

【まとめ・振り返り】床の間や棚のつくり、かかっている絵などよく似ている。ひとつは室町時代の建物と知っておどろいた。室町文化にはどのような特徴があるのだろうか、他にも今に伝わるものがあるだろうか。

2時

【課題】室町時代の文化の特色を知るにはどのようなものを調べるとよいのだろうか。

【活動】教科書の写真や図書室で室町文化を代表する建築物や水墨画を探し、調査計画を立てる。

【まとめ・振り返り】室町時代の文化を代表する建物には金閣と銀閣があることがわかった。また、かけ軸になっていた水墨画は雪舟という人の作品だと分かった。それぞれどのような特徴があるのだろうか。

3  
～  
4時

【課題】室町文化を代表する金閣と銀閣には、どのような特ちょうがあるのだろうか。

【活動】図書やインターネット等を使って金閣と銀閣や当時の社会の様子なども調べ、比較してその特徴を捉える。

【まとめ・振り返り】室町時代は、中国との交流もさかんで、義満が建てた金閣には金ぱくがはられていた。後に義政が建てた銀閣は、ふすまや畳、違い棚をもっている書院造とよばれるつくりで、たたみなどは現在にも受けつがれている。雪舟の水墨画にはどのような特徴があるのだろうか。

5  
～  
6時

【課題】今に伝わる室町文化にはどのようなものがあるだろうか。～雪舟の作品の特徴を調べよう～

【活動】水墨画、雪舟について図書やインターネット等を使って調べ、その特徴や評価を知る。

【まとめ・振り返り】雪舟がかいた水墨画は、墨一色の濃さで風景などを描いていて海外でも評価がたかいことがわかった。茶の湯、生け花なども室町文化が伝わったものようだ。どのような背景からこうした文化が生まれてきたのだろうか。

7時

【課題】室町文化の特色や今に伝わっているものについてまとめよう。

【活動】学習してきたことを新聞に整理し、室町文化について紹介する欄を書いてまとめる。

【単元のまとめ】室町文化は、京都の室町に幕府が置かれた頃の文化で、中国の文化からも影響をうけている。足利義政の頃にはふすまや畳、違い棚をもつ書院造や雪舟の作品に代表される水墨画などが生まれ、いまの生活にも受け継がれているものが多い。

新聞に少しずつ割り付ける。

【単元の振り返り】水墨画のよさを美術館の人から聞いてみたり、生け花や茶の湯を体験したりして、振り返りとする（他の教科や領域との関連で扱う）。